

第6次地域保健医療計画の平成27年度取組状況進捗状況調査票

1 脳卒中医療

(目標)

予防重視の観点から、医療機関、医師会、医療保険者、市町で連携を強化し、健康教育や保健指導等予防のための取組を行います。

脳卒中の予後改善を図るため、病院前救護から急性期・慢性期の治療やリハビリ、在宅医療までの医療連携体制の構築を推進します。

利根保健医療圏地域医療ネットワークシステム「とねっと」の地域連携クリティカルパスを活用するなど、プレホスピタル・ケアから在宅医療に関わる複数の機関における患者情報の共有化を図り、良質な医療提供に努めます。

患者が病期に応じ、適切なケアが享受できるよう医療情報システムや介護・福祉サービスの情報提供を行います。

実施主体	主な取組	機関名	平成27年度実施計画	平成27年度実績	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	高血圧等脳卒中 ハイリスク者に対する保健指導 の充実	北埼玉医師会	○地域におけるプライマリケアを充実し、地域医療提供体制の整備を図る。 ○さらに、かかりつけ医定着と病診連携の推進を理事会において検討を重ねる。 ○関係職種の資質の向上のため、研修会への参加を促進	○医師会としての単独事業は特別に行わなかった。個々の医療機関で保健指導の充実を図るよう教育、指導した。	会長
		行田市医師会	○市内3医療機関での脳ドックの実施及び健診後の各医療機関での指導を実施	○例年どおり実施	
		行田総合病院	○脳ドックの推進 ○栄養指導の充実	○脳ドックは継続実施しているが、新たに頭痛外来及びLOX Indexの検診も開始した。 ○医師との連携を円滑にし、外来にて高血圧の方への栄養指導を実施した。	健診担当 栄養科
		医療法人仁寿会 山田クリニック	○院内での栄養指導の強化 ○特定保健指導への協力 ○健康講和を通じての啓蒙	○院内での栄養指導の強化と医師の健康講和の実施により啓蒙に努めた。	医師 管理栄養士
		新久喜総合病院	○特定保健指導を充実させるとともに健康・栄養相談を実施する。	○特定保健指導実施 266名 ○健康・栄養相談実施 151名	健康管理 センター
		済生会栗橋病院	○現在は、市民からの要望により(受身的に)実施している「出張市民講座」や「健康相談」を今後は病院主導に切り替え、開催頻度を増やし、保健指導等を実施していく。	○ホームページやカンファレンス等で脳ドック等の宣伝を行い病院からの発信を行った。更に市民からの要望に応え年間8回の市民講座を実施した。	地域医療連携 センター 地域連携課
		東埼玉総合病院	○予防重視の観点から、市民公開講座を開催し、医療機関、医師会、幸手市と連携し、健康教育や保健指導等予防のための取組を行う。	○住民向けに市民公開講座を年3回開催した。(参加者総数401名)医療講演・健康測定・各種相談を実施のうえ、健康に対する意識向上に努めた。	地域医療推進 部
		白岡中央 総合病院	○地域健康相談会等で保健指導及び栄養指導	○看護の日イベントにて健康相談(白岡駅延べ60人)	地域連携室
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	医療機関と消防 機関との連携によるプレホスピ タル・ケアの 充実	北埼玉医師会	○地域におけるプライマリケアを充実し、地域医療提供体制の整備を図る。 ○さらに、かかりつけ医定着と病診連携の推進を理事会において検討を重ねる。 ○関係職種の資質の向上のため、研修会の参加を促進	○埼玉県東部メディカルコントロール(MC)協議会、BANDOMC協議会の構成員としてプライマリケアの充実に寄与した。	会長
		行田市医師会	○市民フォーラムにおいてAEDの体験学習及び消防署員による寸劇の中でAED講習を実施	○例年どおり実施	

医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	医療機関と消防 機関との連携に よるプレホスピ タル・ケアの 充実	行田総合病院	○医療機関と消防機関とで症例を持ち寄ったプレホスピタルケアの勉強会を実施	○消防機関との勉強会を5回開催し、そのうち1回を脳疾患に関する内容を題材としてプレホスピタルケアについてもカンファレンスを行った。	医師
		済生会栗橋病院	○「とねっと」を積極的に活用し、自分の健康記録等を管理しながら、健康管理の啓発や連携医との情報を共有させる。 ○各消防署とは顔の見える連携を目指し、小児、成人共に年間に各々4回程度勉強会を開催。その他、内容によってはカンファレンスを開催する。	○とねっとにおいては、利根保健医療圏地域連携協議会と連携しながらその普及に努めている。 ○各消防署との連携については、小児救急勉強会（SQO）及び成人版救急勉強会を各々2回開催し顔の見える連携を図った。	地域医療連携 センター 地域連携課
		東埼玉総合病院	○消防機関との連携強化に向け『症例検討会』を開催（年2回以上） ○消防機関との連携強化のための訪問	○症例検討会実施に関しては平成27年度調整に難航し実施に至らなかった。 平成28年度は8月4日の実施をはじめ年度内に複数回実施を行えるよう進めている。 ○平成27度中に計4回、近隣の消防機関に医師・担当事務局が訪問し、顔の見える連携強化向上の為搬送時の要望・意見交換等を行った。	脳神経外科 救急委員会
		白岡中央 総合病院	○救急隊員との症例検討会	○白岡消防強力のもと、BLS訓練（職員）（延べ180人） ○東部地区のメディカルコントロール会議（年1回参加） ○救急輪番への参加（月平均6回）	救急委員会
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	地域連携クリ ティカルパスを 活用した医療連 携体制の整備	北埼玉医師会	○地域におけるプライマリケアを充実し、地域医療提供体制の整備を図る。 ○さらに、かかりつけ医定着と病診連携の推進を理事会において検討を重ねる。 ○関係職種の資質の向上のため、研修会の参加を促進	○とねっとの充実を通して、協議会の構成員として、整備に努めた。	会長
		行田市医師会	○急性期は2病院が対応し、回復後は各医療機関が対応している。	○例年どおり実施	
		埼葛歯科医師会	○地域連携病院との関係強化	○地域連携病院との関係強化	会長・ 専務理事
		久喜市 歯科医師会	○蓮田病院歯科口腔外科等の連携講習会の開催	○蓮田病院歯科口腔外科等の連携講習会の開催 2回開催	会長
		蓮田市 歯科医師会	○蓮田病院歯科口腔外科等の連携講習会の開催	○蓮田病院歯科口腔外科等の連携講習会の開催 2回開催	会長
		白岡市 歯科医師会	○蓮田病院歯科口腔外科等の連携講習会の開催	○蓮田病院歯科口腔外科等の連携講習会の開催 2回開催	会長
		北埼玉 歯科医師会	○地域連携病院との関係強化（深谷日赤病院）	○深谷日赤病院地域連携会議参加	理事地域 包括部長
		行田市 歯科医師会	○地域連携病院との関係強化（行田中央総合病院・行田総合病院）	○行田中央総合病院・行田総合病院地域連携会議院内発表会参加	会長
		行田総合病院	○埼玉県医師会脳卒中地域連携研究会のパスによる患者様の受入れを継続（回復期）	○埼玉県脳卒中地域連携パスを使用して回復期リハビリテーション病棟にて受入れを継続実施している。また、大学病院を含む他医療機関への回復期リハビリテーション病棟の情報提供、埼玉県脳卒中地域医療連携研究会が主催する会議や講演会にも参加し、情報共有を図っている。	脳外科 MSW
		中田病院	○埼玉県脳卒中地域連携診療計画「情報交換のための会合」（年3回） ○計画管理病院と連携し、施設基準届出を適宜行う。また、その管理病院主催の情報交換会に参加する。	—	地域連携室

医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	地域連携クリ ティカルパスを 活用した医療連 携体制の整備	新久喜総合病院	○地域医療ネットワークシステムの構築に協力し情報共有を図ることにより地域完結型医療を目指す。 ○地域医療連携（懇話）会への参加 ○医療（病診）連携の会の開催	○地域医療ネットワーク参加受付等 ○医療（病診）連携の会開催 2回	地域医療課
		済生会栗橋病院	○埼玉県で参加している現在の脳卒中パスの活用を踏まえながら、住民に制度と存在を周知する。更に、当院独自（県外が中心）で行っているクリニカルパスについても積極的に取り組んでいく。	○埼玉県全体で始まり、現在医師会を中心に行っている脳卒中パスを積極的に推進し46件を算定。更に県外を含めた当院独自での連携についても年3回の勉強会を開催し取り組んで来た。	地域医療連携 センター 社会福祉課
		東埼玉病院	○埼玉県医師会脳卒中地域連携研究会の主催する「情報交換会」、茨城西南医療センターの主催する「地域医療連携パス会議」に、各々常時出席予定（それぞれ3回/年 程度）	○埼玉県医師会脳卒中地域連携研究会の主催する「情報交換会」、茨城西南医療センターの主催する「地域医療連携パス会議」に、各々常時出席（それぞれ3回/年）	リハビリテー ション科
		東埼玉総合病院	○『埼玉県医師会脳卒中地域連携研究会情報交換会』に継続して参加（年3回）	○埼玉県医師会脳卒中地域連携研究情報交換会に年3回参加 開催日：11月16日（水）、2月26日（金）、3月24日（木） ○脳卒中地域連携パス適用件数：100件	脳神経外科 地域医療 推進部
		白岡中央 総合病院	○白岡市・白岡医師会による地域包括ケアシステムの構築 ○脳卒中、大腿骨頸部骨折連携パスの運用 ○回復期リハビリテーション病棟の活用	○脳卒中クリニカルパス使用実績（56件） ○回復期リハビリテーション病棟（月平均延べ患者数38.2人）	医療相談室 医師 在宅支援室
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	脳卒中に対応で きる医療機関、 医療機能等の住 民への情報提供	北埼玉医師会	○地域におけるプライマリケアを充実し、地域医療提供体制の整備を図る。 ○さらに、かかりつけ医定着と病診連携の推進を理事会において検討を重ねる。 ○関係職種の資質の向上のため、研修会の参加を促進	○医師会として単独事業は行わなかった。各医療機関が住民に情報提供をするよう指導した。	会長
		行田市医師会	○市民フォーラムや病院広報にて実施	○例年どおり実施	
		行田総合病院	○病院院外広報誌での情報提供 ○市民公開講座の開催	○病院院外広報誌にて脳卒中及び脳外科に関する特集号を発行した。 ○セラピストによる運用指導などを実施した。	広報
		新久喜総合病院	○病院院外広報誌及び病院ホームページにおける情報提供	○院外広報誌の発行	地域医療課
		済生会栗橋病院	○当院のホームページやパンフレットを充実させると共に、埼玉県が取りまとめている傷病者の搬送及び受け入れの実施に関する基準の医療機関リストへ登録を行う。 更に、「出張市民講座」を開催し当院の実情を市民に説明する。	○ホームページ上の脳外科疾患関係の内容を充実させ、埼玉県が行っている「傷病者の搬送受入登録リスト」に登録を行った。 出張市民講座は年間8回を開催したが、うち2回は脳卒中関連の内容を実施した。	地域医療連携 センター 地域連携課 総務課（広報 室）
		東埼玉病院	○近隣市町の地域住民を対象として「健康講話」及び「市民健康講座」を開催し、運動指導等の啓発を行う。	○近隣市町の地域住民を対象として「市民健康講座」を開催し、運動指導等の啓発を行った。 ○また、市の老人福祉センター及び市内の自治会館に赴き、出前講座を実施し、運動指導等の啓発を行った。 ※市民健康講座参加者数 228名、出前講座参加者数 約160名	リハビリテー ション科・地 域医療連携室
		東埼玉総合病院	○『地域連携の会』を開催し地域の医療機関、在宅医療機関等との情報交換を実施 ○ホームページや院内掲示にて積極的な情報提供に努める。	○医療機関を通じた住民への情報提供のひとつとして、地域連携の会を開催した。 開催日：6月14日（火） 参加施設数：28施設 来賓者数：49名 ○ホームページや院内掲示、パンフレットを作成のうえ、情報提供に努めた。	地域医療 推進部
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	脳卒中に対応で きる医療機関、 医療機能等の住 民への情報提供				

2 糖尿病医療

(目標)

特定健診・保健指導を効率的効果的に実施し、自覚症状のない早期の段階で、生活習慣の改善を図り、QOLの向上のため糖尿病予防に努めます。

早期診断された患者の悪化防止のために、標準的な糖尿病教育プログラムが受けられるような医療機関を増やします。

初期・安定期の治療や保健指導について、かかりつけ医と専門医療機関が地域で共通したパスを活用した情報提供システムの普及啓発を目指し、病院と診療所の連携強化を図ります。

地域の管理栄養士等の質の向上と指導の標準化を図るため、市町、医師会が協力して地域として糖尿病教育の質が向上するような研修会を実施します。

実施主体	主な取組	機関名	平成27年度実施計画	平成27年度実績	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	特定健診・保健 指導の効果的な 実施	北埼玉医師会	○地域におけるプライマリケアを充実し、地域医療提供体制の整備を図る。 ○さらに、かかりつけ医定着と病診連携の推進を理事会において検討を重ねる。 ○関係職種の資質の向上のため、研修会の参加を促進	○糖尿病重症防止対策事業 羽生市と共同して実施した。 (加須市は28年度より実施の予定)	会長
		行田市医師会	○保健センターにおける保健指導について問題症例は相談を受けアドバイスをを行っている。	○例年どおり実施	
		南埼玉郡市 医師会	○会員医療機関において特定健診を27,870件実施予定	○会員医療機関において、27,481件の特定健診を実施した。	
		行田市 歯科医師会	○行田市保健センターの糖尿病予防教室への講師派遣	○行田市保健センターの糖尿病予防教室への講師派遣	会長
		行田中央 総合病院	○特定健診の受け入れ体制の強化 ○特定保健指導の充実	○特定健診を1712件(昨年度比11.1%増)受け入れた。 ○特定保健指導を28人(昨年度比16.7%増)実施	健康管理 センター
		行田総合病院	○特定健診の充実を図る。 ○特定健診に対する病院院外広報誌での情報提供	○病院院外広報誌にて健診特集を発行した。 ○特定健診受け入れ体制も充実させ、前年を上回る受診者となった。	健診担当
		中田病院	○特定健診受診の啓発活動	—	健康推進部
		医療法人 大久保病院	○特定健診の継続実施・推進	—	医事課
		医療法人仁寿会 山田クリニック	○特定健診の推進と予防の充実	○特定健診の推進として、徹底した声掛けを実施した。	医師 全職員
		新久喜総合病院	○体験型教材や個別教材を効果的に活用し特定健診の充実を図る。	○体験型教材用の活用により自尊感情を高めイメージに着目した指導により中断事例に務めた。	健康管理 センター
		済生会栗橋病院	○特定健診・保健指導を効果的に活用すると共に、早期段階で治療に結びつけ、患者QOLの向上に努める。	○健診結果の郵送時に特定健診のお知らせや当院のパンフレットを同封し受診を促すと共に、時期をずらして受診者に個別に郵送にてお知らせを行った。	健診センター 健康管理課
		蓮田病院	○特定健診を増やして、糖尿病予防に努める。	○蓮田、白岡を中心に昨年の1.5倍の受診を受け、地域医療の充実を図った。	検診センター
		白岡中央 総合病院	○糖尿病認定看護師による指導 ○特定健診の強化	○地域交流会(施設職員向け)糖尿病認定看護師による研修会(参加者数延べ33人) ○看護の日にて特定健診の広報活動実施(参加延べ人数60人)	看護師
		北埼玉医師会	○地域におけるプライマリケアを充実し、地域医療提供体制の整備を図る。 ○さらに、かかりつけ医定着と病診連携の推進を理事会において検討を重ねる。 ○関係職種の資質の向上のため、研修会の参加を促進	○北埼玉医師会、埼玉県医師会主催の市民講座を開催した。 平成28年1月24日 市民プラザ 演題「糖尿病で透析にならないために」	会長
		行田市医師会	○市の依頼により講習会を実施 ○薬局でのHbA1c測定異常者の協力医療機関を公開している。	○例年どおり実施	

医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	糖尿病患者の教育プログラムの充実	北埼玉 歯科医師会	○埼玉県歯科医師会「糖尿病と歯周病の連携推進講習会」への派遣	○埼玉県歯科医師会「糖尿病と歯周病の連携推進講習会」への会員派遣	理事地域包括 部長
		行田市 歯科医師会	○行田市保健センターの糖尿病予防教室への講師派遣	○行田市保健センターの糖尿病予防教室への講師派遣	会長
		行田中央 総合病院	○糖尿病患者会活動を通じての啓発活動の実施 ○院内イベントにおける講演の実施 ○行田市公開講座への講師の派遣 ○糖尿病教育入院の実施	○糖尿病患者会活動として、勉強会や啓発活動を実施 ○病院主催健康まつりにおいて啓発活動を実施 ○行田市主催公開講座へ講師を派遣 ○糖尿病教育入院について引き続き実施 ○フットケア外来の拡充を進めた。	関係各部署
		行田総合病院	○糖尿病教育入院の実施 ○栄養指導の充実	○内分泌・代謝内科の医師を招聘し、糖尿病教育入院も充実した。 ○栄養士と医師との情報交換を円滑にし、糖尿病患者への外来栄養指導体制を継続的に実施している。	医師 栄養科
		済生会栗橋病院	○院内における糖尿病教室の内容及び回数共に充実を図る。 ○「とねっと」を活用した地域連携パスを取り入れ、連携医と情報共有を行いながら二人主治医制での管理を行っていく。	○フルタイムの常勤医が不在なため、定期的な集団指導はできなかったが、入外共に個別指導を（入院：204回・外来：128回）実施した。また、院内において年間6回糖尿病に関する講演会を実施した。	栄養科 地域医療連携 センター 地域連携課 診療部
		東埼玉病院	○生活習慣病教室（糖尿病教育を含む）の開催（12回／年） 対象患者：外来患者 講師：医師、歯科医師、看護師、薬剤師、検査技師、理学療法士及び栄養士	○生活習慣病教室（糖尿病教育を含む）の開催（12回／年） 対象患者 外来患者 ※延べ45名参加 講師：医師、歯科医師、薬剤師、検査技師、理学療法士、栄養士及び看護師	栄養管理室
		東埼玉総合病院	○糖尿病患者の教育プログラムのさらなる充実 ・糖尿病教育入院 年間60件 ・フットケア外来 年間300件 ・透析予防プログラム 年間300件 ・冠動脈疾患予防プログラム 年間500件 ・閉塞動脈硬化症予防プログラム ・治療中断予防プログラム ・歯科と連携した誤嚥性肺炎予防プログラム ・生活習慣病予防祭りの開催 ・糖尿病栄養指導件数（個人、集団）年間1,000件	○糖尿病患者の教育プログラムの実施 ・糖尿病教育入院 年間 64件 ・フットケア外来 年間408件 ・透析予防プログラム 年間345件 ・冠動脈疾患予防プログラム 年間807件 ・閉塞動脈硬化症予防プログラム ・治療中断予防プログラム 290件対応 ・歯科と連携した誤嚥性肺炎予防プログラム 準備会議2回開催 ・生活習慣病予防祭りの開催 1回・（市民公開講座内ブースとして出展 3回） ・糖尿病栄養指導（個人、集団）（2,064件実施）	地域糖尿病セ ンター
		白岡中央 総合病院	○栄養指導に拡充	○認定看護師による継続看護（糖尿病治療サポート）（治療回数延べ83回）	栄養科
		北埼玉医師会	○地域におけるプライマリケアを充実し、地域医療提供体制の整備を図る。 ○さらに、かかりつけ医定着と病診連携の推進を理事会において検討を重ねる。 ○関係職種の資質の向上のため、研修会の参加を促進	○とねっとを活用して構築に努めた。	会長
		行田市医師会	○薬局でのHbA1c測定異常者のための協力医療機関を公開している。	○例年どおり実施	
		埼玉葛歯科医師会	○日本糖尿病協会の糖尿病連携手帳を利用した連携システムの強化	○日本糖尿病協会の糖尿病連携手帳を利用した連携システムの強化	会長
		北埼玉 歯科医師会	○日本糖尿病協会の糖尿病連携手帳を利用した連携システムの強化	○日本糖尿病協会の糖尿病連携手帳を利用	理事地域包括 部長
		行田市 歯科医師会	○日本糖尿病協会の糖尿病連携手帳を利用した連携システムの強化	○日本糖尿病協会の糖尿病連携手帳を利用	会長

医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	糖尿病地域医療 連携システムの 構築	久喜白岡 薬剤師会	○三師会合同 11月1日久喜市食育健康祭において、糖尿病薬について市民に説明等（効くメカニズム）を行う予定。 ○HbA1c測定予定。	○11月1日久喜市食育健康まつりで糖尿病薬について講演 HbA1c 20名測定（1名の高測定値者有り）	会長
		幸手薬剤師会	○検体測定室を6薬局に設置し、HbA1cの測定を実施する。 ○糖尿病に関する栄養相談を実施し運動療法の説明を行う。	○6薬局内では345名にHbA1cの測定を行った。 ○6.5以上では、100%の患者が受診に結び付いた。 ○公共機関、歯科医、駅等の広報活動が有効であった。	
		行田市薬剤師会	○行田市、行田市医師会、行田市歯科医師会と連携のもと、検体測定室事業を開始する。	○4月1日より行田市、行田市医師会、行田市歯科医師会と連携して行田市薬剤師会11の薬局（途中から12薬局）で検体測定室事業を開始した。測定項目はHbA1c。27年度、448人を測定し、62名の方を受診勧奨した。	
		済生会栗橋病院	○かかりつけ医と専門医が連携を図りながら情報を共有するシステムを構築する。 ○「とねっと」を活用した地域連携パスを取り入れ、連携医と情報共有を行いながら二人主治医制での管理を行っていく。	○常勤（フルタイム）医師がおらず、週3回の嘱託医のみのため、二人主治医制を前提とした情報共有システムの構築はできなかった。しかし、平成29年4月からは常勤医1名が配属される予定であることから新たな取り組みが期待できる。	地域医療連携 センター 地域連携課
		東埼玉病院	○院内に食生活のアドバイスのポスター掲示及び資料の配付を継続して行う。 ○地域住民を対象として、健康講話を実施し、食生活の相談、パンフレットの配布を行う予定。	○近隣市町の地域住民を対象として「市民健康講座」を開催し、食生活の相談、パンフレット等の配布を行った。 ○院内に食生活のアドバイスのポスター掲示及び資料の配付を行った。なお、配布資料については、外来栄養指導室の前にスタンドを設置し、患者さんが自由に持って行けるよう工夫している。	栄養管理室
		東埼玉総合病院	○糖尿病循環型連携パス（紙パス）年間500件 ○電子版糖尿病連携パス（とねっとによるITパス）年間500件登録 ○在宅での糖尿病管理や訪問診療との在宅医療連携のさらなる強化	○糖尿病循環型連携パス（紙パス）年間746件 ○電子版糖尿病連携パス（とねっと）年間924件 ○糖尿病患者への訪問診療4件 このうち在宅看取り1件 ○透析予防 延345件	地域糖尿病セ ンター
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	糖尿病治療及び 保健指導を担う 専門職の質の 向上	北埼玉医師会	○地域におけるプライマリケアを充実し、地域医療提供体制の整備を図る。 ○さらに、かかりつけ医定着と病診連携の推進を理事会において検討を重ねる。 ○関係職種との資質の向上のため、研修会の参加を促進	○糖尿病に関する学術講演会を2回開いた。 ①平成27年5月27日 演題「糖尿病と尿路・性器感染症～どのように診断治療するか～」 ②平成27年10月21日 演題「2型糖尿病の薬物治療について～内服薬を中心に～」	
		行田市医師会	○保健師からの相談を受け、アドバイスをを行っている。	○例年どおり実施	
		埼玉葛歯科医師会	○埼玉県歯科医師会及び埼玉県摂食嚥下研究会の講習会への参加及び糖尿病関連講習会の実施 ○埼玉利根医療圏糖尿病ネットワーク研究会への参加及び講師派遣	○埼玉県歯科医師会及び埼玉県摂食嚥下研究会の講習会への参加（25名）及び糖尿病関連講習会の実施（2回） ○埼玉利根医療圏糖尿病ネットワーク研究会への参加及び講師派遣	会長・ 専務理事
		久喜市 歯科医師会	○埼玉県歯科医師会及び埼玉県摂食嚥下研究会の講習会への参加及び糖尿病専門医による糖尿病関連講習会の実施	○埼玉県歯科医師会及び埼玉県摂食嚥下研究会の講習会への参加及び糖尿病専門医による糖尿病関連講習会の実施（1回、参加38名）	会長
		蓮田市 歯科医師会	○埼玉県歯科医師会及び埼玉県摂食嚥下研究会の講習会への参加及び糖尿病専門医による糖尿病関連講習会の実施	○埼玉県歯科医師会及び埼玉県摂食嚥下研究会の講習会への参加及び糖尿病専門医による糖尿病関連講習会の実施（1回、参加38名）	会長
		幸手市 歯科医師会	○埼玉県歯科医師会及び埼玉県摂食嚥下研究会の講習会への参加、糖尿病関連講習会の実施、市内調剤薬局での糖尿病簡易検査への協力	○埼玉県歯科医師会及び埼玉県摂食嚥下研究会の講習会への参加、糖尿病関連講習会の実施、市内調剤薬局での糖尿病簡易検査への協力	会長

医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	糖尿病治療及び 保健指導を担う 専門職の質の 向上	白岡市 歯科医師会	○埼玉県歯科医師会及び埼玉県摂食嚥下研究会の講習会への参加 及び糖尿病専門医による糖尿病関連講習会の実施	○埼玉県歯科医師会及び埼玉県摂食嚥下研究会の講習会への参加 及び糖尿病専門医による糖尿病関連講習会の実施（1回、参加3 8名）	会長
		北埼玉 歯科医師会	○埼玉県歯科医師会及び埼玉県摂食嚥下研究会の講習会への参加 及び糖尿病関連講習会の実施	○埼玉県歯科医師会及び埼玉県摂食嚥下研究会の講習会への参加 及び糖尿病関連講習会の実施	理事地域 包括部長
		行田市 歯科医師会	○糖尿病関連講習会の実施、及び行田市内の調剤薬局にて実施し ている糖尿病の簡易検査の検討	○糖尿病関連講習会の実施、及び行田市内の調剤薬局にて実施し ている糖尿病の簡易検査の検討	会長
		行田市薬剤師会	○糖尿病に関連する講習を実施する。	○定例会において糖尿病薬に関する勉強会を実施した。 (4/17) (7/17) (2/19)	
		羽生市薬剤師会	○糖尿病治療と医薬品の勉強会	○糖尿病新薬の勉強会開催	
		新久喜総合病院	○専門研修会等へ積極的に参加し知識の習得に努め質の向上を図 る。	○専門の研修会（生活習慣病予防等）への参加	健康管理 センター
		済生会栗橋病院	○連携カンファレンスや勉強会を開催し座学の範囲内で、専門性 の向上を図る。	○福祉相談課を中心に院内において年間6回の糖尿病勉強会を開 催。	地域医療連携 センター 地域連携課
		東埼玉総合病院	○埼玉利根医療圏地域糖尿病療養指導士養成講座開講 ○埼玉利根医療圏糖尿病ネットワーク研究会の開催 ○糖尿病登録医・療養指導医の育成（日本糖尿病協会） ○学術・講演会活動の実施 ○地域ぐるみの疾病管理専門部会（DM・CKD・眼科・歯科・認知 症・心筋梗塞）	○第6期生9人を新規認定（のべ89人が認定） ○年間3回開催 195人の参加 ○糖尿病登録医0名、療養指導0名 ○地域ぐるみの疾病管理専門部会 糖尿病、歯科、フットケア、 CKD領域で活動開始（このうち、CKDでは実際に糖尿病合併症管理料 に基づく糖尿病性腎症の重症化予防プログラムを）	地域糖尿病セ ンター
白岡中央 総合病院	○糖尿病認定看護師の育成支援	○看護協会主催の研修会講師派遣（糖尿病看護の講義）（実施1 回） ○地域の看護学校に認定看護師派遣（講義実施1回）	看護部		

3 在宅医療

(目標)

安心して在宅医療へ移行してもらうための環境づくりに努めます。

医師、歯科医師、薬剤師、看護師、介護職員など多職種が連携したチームで、患者、家族をサポートする体制を構築します。

かかりつけ医とかかりつけ医を支援する地域の中核病院の連携を強化し、地域完結型の医療提供を推進します。

実施主体	主な取組	機関名	平成27年度実施計画	平成27年度実績	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 歯科医師会 各団体	在宅医療機関と 入院医療機関の 連携推進	北埼玉医師会	○地域におけるプライマリケアを充実し、地域医療提供体制の整備を図る。 ○さらに、かかりつけ医定着と病診連携の推進を理事会において検討を重ねる。 ○関係職種の資質の向上のため、研修会の参加を促進	○医師会館の中に、北埼玉在宅医療連携室を開設（27年9月）した。順調に地域包括ケアがスタートした。	北埼玉在宅 医療連携室
		行田市医師会	○在宅医療実施医療機関の会合を毎月実施し、情報交換を行っている。	○例年どおり実施	
		南埼玉郡市 医師会	○在宅医療担当の看護師を医師会に配置 ○往診医の募集及び登録の実施	○27年9月に専任の看護師を配した在宅医療連携拠点を設置した。 ○25名の訪問診療医の登録を行った。 ○管内に1日1床の在宅療養支援ベッドの確保を行った。	
		北葛北部 医師会	○地域医療、福祉資源の把握及び活用 ○多職種連携のための会議・研修の開催 ○24時間365日の在宅医療、介護提供体制の構築 ○地域包括支援センター・ケアマネを対象にした支援、効率的な情報共有のための取組 ○地域住民への在宅医療の普及、啓発 ○その他在宅医療推進のための取組	○多職種連携のための会議の開催（ケアフェア開催10回参加者延501名） ○地域包括ケア・多職種協働学習会の開催（開催3回参加者延299人） ○暮らしの保健室の開催と地域コミュニティとの連携（H27.4～H28.3延べ相談者645名、講話2,204名） ○健康と暮らし支え合い協議会（開催15回参加者延235名）、アセスメント調査の実施（訪問対象件数96件） ○地域住民へ在宅医療の普及・啓発（パンフレット制作、市民公開講座シンポジウムの開催400名参加） ○地域包括センターを囲んでの懇話会（開催9回参加者延94名） ○地域防災ワキнг開催（開催3回参加者延23名） ○医師・看護師・介護士・行政担当者等ワキンググループ開催（開催6回参加者延86名）	在宅医療連携 拠点事業推進 室
		北埼玉 歯科医師会	○行田中央総合病院内に設置した北埼玉地区在宅歯科医療推進窓口地域拠点の活用	○行田中央総合病院内に設置した北埼玉地区在宅歯科医療推進窓口地域拠点運営	理事地域 包括部長
		行田市 歯科医師会	○行田中央総合病院内に設置した北埼玉地区在宅歯科医療推進窓口地域拠点の活用と従来からある行田市在宅歯科医療窓口との整合性確保	○行田中央総合病院内に設置した北埼玉地区在宅歯科医療推進窓口地域拠点運営	会長
		羽生市薬剤師会	○在宅医療研修会の実施 ○薬局と病院との連携を推進	—	
		行田中央 総合病院	○在宅療養支援病院として、連携する9医療機関との連携強化を進める。	○在宅療養支援病院として、連携する6医療機関と引き続き連携強化を進めた。 ○北埼玉地区在宅歯科医療連携推進窓口地域拠点との連携強化	地域連携室等
		行田総合病院	○在宅機関との定期的な情報交換 ○在宅機関との退院前カンファの実施	○在宅機関への定期的な訪問を行った。 ○ケアマネなどへ入院患者の情報提供を積極的に行い、退院までにカンファレンスを行える体制を整えた。	MSW 地域連携室
		医療法人仁寿会 山田クリニック	○在宅医療機関、入院医療機関、近隣施設との連携強化	○在宅機関・入院医療機関・近隣施設3者の連携は、更に強化されてきている。	医師 全職員

医療機関 医師会 薬剤師会 歯科医師会 各団体	在宅医療機関と 入院医療機関の 連携推進	新久喜総合病院	○医療（病診）連携の会等を開催し地域医療機関との意見交換、 情報共有に努める。 ○退院前のカンファレンスに参加し、患者情報の共有化を図る。	○退院前のカンファレンスにて取得した患者情報をかかりつけ 医と共有し在宅医療への負担軽減に努めた。	訪問看護 ステーション
		済生会栗橋病院	○近隣施設と定期的な話し合いを行い、急激な高齢化に対応出来 る久喜モデルを構築し、ニーズの高い施設への往診や看取りなど にも対応出来るシステムの構築をする。	○地域医療連携センター内に退院支援課を新たに設け退院支援を 強化すると共に、訪問看護ステーションとも協力し在宅や往診へ の対応をしてきた。（平成28年9月には退院支援課を開設済み）	訪問看護ス テーション 地域医療連携 センター
		東埼玉病院	○在宅医療連携推進協議会を継続し、引き続き多職種協働による 在宅医療の支援体制等について検討を進めるとともに、引き続き 顔の見える関係作りに取り組む。	○平成27年度においては在宅医療連携推進協議会を開催（年6 回）し、多職種協働による在宅医療の支援体制について検討を進 めるとともに、顔の見える関係作りに取り組んだ。	総合診療科 （在宅医療連 携推進協議会 事務局）
		蓮田よつば病院	○かかりつけ医や訪問診療医との連携推進を図るため、定期的な 訪問を行い、情報交換を行う。	○訪問に思った以上に行けなかった。	地域医療相談 室
		東埼玉総合病院	○在宅医療機関と入院医療機関の連携を推進 ○在宅患者が悪化した際の連携システム「在宅見守りパス」、及 び終末期在宅患者の病院での看取りを支援するベストケアサポ ート入院制度の充実 ○医療介護のさらなる連携を推進するために、地域包括支援セン ターを囲んでの意見交換会「地域包括ケアワーキング」を定期開 催	○在宅医療提供体制充実支援事業において、3病院と登録医17名 による在宅医療連携システム開始。初年度登録患者2名 ○サポートケア入院 5名 ○地域包括ケアワーキング 年間11回開催 みんなのカンファレンス 年間12回開催	在宅医療連携 拠点事業推進 室
		白岡中央 総合病院	○地域包括システムの運用（済） ○在宅リハビリの強化 ○病院と訪問・居宅等の連携強化	○病院みなし事業所による訪問リハビリテーションの実施（27年 11月より実施） ○地域交流会の実施（年3回実施） ○市民公開講座の実施（年1回実施） ○地域交流会・市民公開講座1回（平均参加者数34人）	医師 在宅支援室 リハビリ科
		新しらおか病院	○地域包括支援センターとの連携継続 ○往診が必要な施設への対応 ○多職種協働による在宅医療支援体制の充実と情報の共有を図 る。	○地域医療機関や包括への定期的訪問と情報共有で関係作り	医療相談室
医療機関 医師会 薬剤師会 歯科医師会 各団体	医療と介護が 連携した多職種 協働の推進	北埼玉医師会	○地域におけるプライマリケアを充実し、地域医療提供体制の整 備を図る。 ○さらに、かかりつけ医定着と病診連携の推進を理事会において 検討を重ねる。 ○関係職種の資質の向上のため、研修会の参加を促進	○MSCの導入を含めて、北埼玉在宅医療連携室が主導して推進しつ つある。	在宅医療 連携室
		行田市医師会	○多職種による在宅医療の会議を実施している。	○例年どおり実施	
		南埼玉郡市 医師会	○南埼玉郡市医師会在宅医療研究会の開催	○9月及び2月に在宅医療研究会を開催した。	
		埼玉葛歯科医師会	○埼玉葛地区拠点窓口の活動強化	○埼玉葛地区拠点窓口の活動強化	会長
		蓮田市 歯科医師会	○在宅医療連携推進協議会への取組強化	○在宅医療連携推進協議会への取組強化	会長
		行田市 歯科医師会	○行田市健康福祉部高齢者福祉課主催の多職種連携会議への参加 と北埼玉地区在宅歯科医療推進窓口地域拠点のPR	○行田市健康福祉部高齢者福祉課主催の多職種連携会議への参加 と北埼玉地区在宅歯科医療推進窓口地域拠点のPR	会長
		羽生市 歯科医師会	○介護関連施設及び障がい者施設での口腔ケア、歯科保健指導 ○医師会、薬剤師会、介護支援専門員等との口腔ケアの重要性に ついて協議	○障がい者施設3か所での歯科検診、口腔ケア及び歯科保健指導 を実施。	
		久喜白岡 薬剤師会	○今年度より在宅医療部会設立し、多職種協働の推進に参加す る。	○各種団体研修会出席 4回	会長

医療機関 医師会 薬剤師会 歯科医師会 各団体	医療と介護が 連携した多職種 協働の推進	幸手薬剤師会	○多職種協働の在宅医療研修会を開催する。 ○薬剤師向け在宅医療ステップアップ講習会の参加 ○ケアマネージャー向け講習会開催	○多職種協働の在宅医療研修会を1月に開催した。 ○在宅医療講習会へ4名参加した。 ○ケアマネージャー向け講習会を開催した。	
		杉戸・宮代 薬剤師会	○在宅医療連携推進協議会による講習会の参加	○講習会の参加（延べ8名）	
		行田市薬剤師会	○行田市における多職種連携に参加していく。	○在宅医療・介護連携推進に係わる多職種合同意見交換会に出席 ○在宅訪問実施薬局情報交換会及び進展検討会出席 ○埼玉県薬剤師会在宅医療地域担当者会議に出席	各会員
		羽生市薬剤師会	○薬剤師とケアマネージャーと行政との連携を推進	○9月19日ケアマネとの連絡会議を実施	
		行田中央 総合病院	○行田市医師会と連携して在宅医療支援センターを運営し、在宅医療における医師、歯科医師、コメディカル等の紹介する「在宅主治医等紹介システム」を運営する。 ○行田市・医師会・歯科医師会・薬剤師会が連携して月1回開催するミーティングに参加し、連携・多職種協働の動きに対し協力していく。	○行田市医師会と連携して在宅医療支援センターを運営し、在宅医療における医師、歯科医師、コメディカル等の紹介する「在宅主治医等紹介システム」を運営した。 ○行田市・医師会・歯科医師会・薬剤師会が連携して月1回開催するミーティングに参加し、連携・多職種協働の動きに対し協力を行った。 ○多職種連携会議に参加し、介護との連携を図った。	地域連携室等
		行田総合病院	○地域ケア会議や地域のケアマネ会へ職員を参加させ医療と介護の連携を図る。	○MSWとセラピストが地域ケア会議に参加し、多種職での情報共有及び連携を図った。	MSW リハビリ
		中田病院	○介護施設、地域のケアマネの会、地域包括ケアセンター等と医療連携	—	地域連携室
		新久喜総合病院	○患者、家族が安心して在宅療養が出来るように、かかりつけ医やヘルパーなどとの情報共有及び連携に努める。	○患者の状態を把握し密に医師、ケアマネ、ヘルパーと情報を共有し連携している。	訪問看護 ステーション
		済生会栗橋病院	○地域の中核医療機関をはじめ、介護施設や療養型病院、更に行政（保健センター、地域包括ケアセンター）等を巻き込み、医療介護の枠を超えた患者本意の診療体制を模索する。	○地域医療連携センター内に退院支援課を新たに設け退院支援を強化すると共に、訪問看護ステーションとも協力し在宅や往診への対応をしてきた。（平成28年9月には退院支援課を開設済み）	訪問看護ス テーション 地域医療連携 センター
		東埼玉病院	○在宅医療連携推進協議会を継続し、引き続き多職種協働による在宅医療の支援体制等について検討を進めるとともに、引き続き顔の見える関係作りに取り組む。 ○在宅患者訪問栄養食事指導の実施（件数増）	○在宅医療連携推進協議会を開催（年6回）し、多職種協働による在宅医療の支援体制について検討を進めるとともに、顔の見える関係作りに取り組んだ。 ○在宅患者訪問栄養食事指導の実施件数 平成26年度 8件 → 平成27年度 6件	総合診療科 （在宅医療連 携推進協議会 事務局） 栄養管理室
医療機関 医師会 薬剤師会 歯科医師会 各団体	医療と介護が 連携した多職種 協働の推進	蓮田よつば病院	○院内での地域交流会の開催 ○他施設との協同での地域向け講座の開催 ○オレンジカフェの開催	○地域交流会2回、地域向け講座2回実施	QOL推進部
		東埼玉総合病院	○定期的学習会の開催 ○交流会「ケアカフェ」の定期開催 ○医療介護のさらなる連携へ向けた会議の開催 ○在宅医療啓発イベントの開催 ○医療と介護の一体的な提供体制の構築	○定期的学習会及び交流会「ケアカフェ幸手」13回 800人参加 ○北葛北部在宅医療介護連携推進協議会 設置、運用開始 ○在宅医療を考える市民の集い（1/31）400人参加 ○「地域丸ごと相談電話」開設、運用開始	在宅医療連携 拠点事業推進 室
		新しらおか病院	○近隣の医療機関・施設との勉強会・交流会で多職種連携の充実を図る。	○オレンジカフェ参加 ○地域包括等との連携及び情報共有 ○介護施設等において医師・看護師等によるセミナー開催 ○近隣医療機関が開催する勉強会へ参加	医療相談室

医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	地域完結型 医療の推進	北埼玉医師会	○地域におけるプライマリケアを充実し、地域医療提供体制の整備を図る。 ○さらに、かかりつけ医定着と病診連携の推進を理事会において検討を重ねる。 ○関係職種の資質の向上のため、研修会の参加を促進	○とねっとの充実を促進した。各医療機関の役割分担の指導を行った。	会長
		行田市医師会	○多職種による会議を実施している。	○例年どおり実施	
		埼玉歯科医師会	○地域連携病院との関係強化	○地域連携病院との関係強化 東埼玉病院・東埼玉総合病院・蓮田病院など	会長・ 副会長
		北埼玉 歯科医師会	○地域連携病院の深谷日赤病院との関係強化	○地域連携病院の深谷日赤病院との関係強化と講習会参加	理事地域包括 部長
		行田市 歯科医師会	○地域連携病院の行田中央総合病院、行田総合病院との関係強化	○地域連携病院の行田中央総合病院、行田総合病院との関係強化と講習会参加	会長
		杉戸・宮代 薬剤師会	○「まちかど介護相談薬局」事業を要請し患者相談に対応 ○地域ケア会議の開催	○電話による相談対応 ○ケア会議に参加（会長）	
		行田総合病院	○かかりつけ医との連携強化 ○紹介患者の受入及び逆紹介の推進	○近隣医療機関への定期的な訪問を実施 ○逆紹介数も増加し、近隣医療機関との連携を深めている。	地域連携室
		新久喜総合病院	○医療（病診）連携の会等の開催による、開業医との連携強化 ○紹介患者受入、逆紹介の推進	○連携の会や開業医への訪問を通じ紹介・逆紹介についての協力を依頼した。	地域医療課
		済生会栗橋病院	○高齢化により発生する医療受診困難者への物理的かつ費用的な対応や介護保険上の事務手続きの簡素化、施設や在宅への往診や看取りなど、急性期、回復期、維持期の各々の施設が抱える課題を扱い、シームレスな連携を行う事が出来る「地域在宅支援センター（仮称）」の様な施設、システムづくりを検討する。	○地域医療連携センター内に退院支援課を新たに設け退院支援を強化すると共に、訪問看護ステーションとも協力し在宅や往診への対応をしてきた。（平成28年9月には退院支援課を開設済み）	訪問看護ス テーション 地域医療連携 センター
		東埼玉病院	○在宅医療連携推進協議会を継続し、引き続き多職種協働による在宅医療の支援体制等について検討を進めるとともに、引き続き顔の見える関係作りに取り組む。	○在宅医療連携推進協議会を開催（年6回）し、多職種協働による在宅医療の支援体制について検討を進めるとともに、顔の見える関係作りに取り組んだ。	総合診療科 （在宅医療連 携推進協議会 事務局）
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	地域完結型 医療の推進	蓮田病院	○とねっつ及び病診懇話会（蓮田病院主体の地域医療機関との会合）を活用して地域完結型医療を推進する。	○画像、診療情報の提供を図ると共に中核医療機関として病病、病診の連携強化に貢献した。	病診連携室
		蓮田よつば病院	○訪問看護ステーションの拡充と訪問診療医との連携を図る。 ○認知症初期集中支援チームの企画、運営。	○初期集中支援チームとして患者宅訪問を実施	QOL推進部
		東埼玉総合病院	○地域ケア会議の開催 ○地域包括ケアにおけるワンストップ相談窓口である「暮らしの保健室」の設置場所を各地域に拡大（目標25箇所） ○地域包括ケアシステムの中核的役割を担う。	○住民主催の地域ケア会議の開催 5回 ○暮らしの保健室 25ヶ所	在宅医療連携 拠点事業推進 室

4 健康づくり対策

(目標)

健康と栄養・食生活について正しい知識の普及啓発を図り、生活習慣を改善して病気の発症を予防する「一次予防」を推進します。
健全な食生活や健康的な生活環境の基盤づくりを進め、個人の健康づくりの取組を積極的に支援します。
特定健康診査、がん検診の受診率の向上に努め、的確な保健指導を着実に実施します。

実施主体	主な取組	機関名	平成27年度実施計画	平成27年度実績	担当部署
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	健康づくりや生活習慣病予防に関する正しい知識の普及啓発	北埼玉医師会	○地域におけるプライマリケアを充実し、地域医療提供体制の整備を図る。 ○さらに、かかりつけ医定着と病診連携の推進を理事会において検討を重ねる。 ○関係職種の資質の向上のため、研修会の参加を促進	○単独の事業はないが、加須市、羽生市、保健所の事業に積極的に協力した。	会長
		行田市医師会	○市の関連会議に参加・協力している。	○例年どおり実施	
		南埼玉郡市医師会	○会員医療機関において特定健診を27,870件実施予定	○会員医療機関において、27,481件の特定健診を実施した。	
		埼玉歯科医師会	○8020高齢者よい歯のコンクールの開催と啓発活動の強化	○8020高齢者よい歯のコンクールの開催と啓発活動の強化	公衆衛生部
		久喜市歯科医師会	○個別成人健診	○個別成人健診	会長
		蓮田市歯科医師会	○個別成人健診 ○健康いきいきフェスティバルでの歯科健診	○個別成人健診 ○健康いきいきフェスティバルでの歯科健診	会長
		幸手市歯科医師会	○個別成人健診	○個別成人健診	会長
		白岡市歯科医師会	○個別成人健診、節目健診(40, 50, 60歳) ○白岡まつりでの歯科参加	○個別成人健診、節目健診(40, 50, 60歳) ○白岡まつりでの歯科参加	会長
		行田市歯科医師会	○行田市健康福祉部高齢者福祉課との連携強化に伴う、「健康達人塾」への歯科医師派遣や、「長親健口体操」の実施とサポーター養成	○行田市健康福祉部高齢者福祉課との連携強化に伴う、「健康達人塾」への歯科医師派遣や、「長親健口体操」の実施とサポーター養成	会長
		加須市歯科医師会	○個別成人歯科検診 問診や検査に基づき、歯周疾患及び歯蝕に関する予防や生活習慣の改善について、保健指導(予防指導)を行う。	○個別委託方式により実施しているが、受診者数が145名と伸び悩んでいる。	
		羽生市歯科医師会	○歯科保健普及啓発事業 羽生市民福祉まつりにて、口腔衛生に関する知識の普及啓発を行う。	○羽生市民福祉まつりにて口腔内健診及び保健指導を行った。(延べ37人)	
		久喜白岡薬剤師会	○久喜市民祭りにおいて「危険ドラッグ」薬物乱用街頭キャンペーンを実施予定 ○久喜市食育祭りにおいて血糖測定HbA1c測定を予定(医師会、歯科医師会と協力)	○10/18 久喜市民祭りにて薬物乱用防止のためのパンフ等を配布 ○11/1 久喜市食育健康祭りにて20名のHbA1cを測定	会長
		幸手薬剤師会	○薬物乱用防止教室を通じて、地域での啓蒙活動を実施する。 ○健康福祉祭りでHbA1c測定を実施し、糖尿病の啓蒙活動を実施する。	○2小学校で薬物乱用防止教室を実施し、啓蒙活動を実施した。 ○健康福祉祭り、市民の集いでHbA1c測定を実施し、受診勧奨を行った。	
杉戸・宮代薬剤師会	○薬物乱用防止教室を通じて、地域に啓発活動を行う。	○小学校にて授業を行う。			

医療機関
医師会
歯科医師会
薬剤師会
各団体

健康づくりや生活習慣病予防に関する正しい知識の普及啓発

行田市薬剤師会	○行田市ふれあい福祉健康祭りに参加する。	○10月18日(日)平成27年度行田市ふれあい福祉健康まつりに参加した。約500名の方に生活習慣病予防に役立つ小冊子、薬物乱用防止啓発品などをエコバックに入れて配布した。	
羽生市薬剤師会	○健康福祉まつりにて、薬の正しい使い方のアドバイス ○薬と健康の週間における啓発事業	○10月25日健康福祉まつりにて、啓発活動	
行田中央総合病院	○院内での健康まつりにおける健康啓発講演や各種展示の実施 ○行田市医師会、教育委員会と連携して、小学校での禁煙教育の実施	○病院主催の健康まつりでの健康啓発講演や各種展示の実施 ○行田市医師会、教育委員会と連携して、市内小学校8校で禁煙教育を実施	地域連携室等
行田総合病院	○健康相談等で栄養指導等の実施	○生活習慣予防のための栄養指導を積極的に推進し、糖尿病患者以外へも栄養指導を実施した。	栄養科
新久喜総合病院	○市民公開講座等の開催による知識の普及 ○系統団体等への啓蒙活動及び研修会への講師派遣	○系統団体への保健師等を派遣し健康教室開催	健康管理センター
済生会栗橋病院	○地域住民を対象とした健康講座や講習会の開催	○ホームページやカンファレンス等での宣伝と病院からの発信を行い、更に市民からの要望に応え年間8回の市民講座を実施した。	地域医療連携センター 地域連携課
蓮田病院	○公開講座等で、生活習慣病の予防等に関する情報発信を行う。	○年6回の公開講座を実施し、埼東読売による健康セミナー「生涯現役を目指して」と題して健康づくりをテーマに毎月常勤医師による寄稿を実施した。	広報委員会
蓮田よつば病院	○認知症サポーター養成講座の定期的な開催と劇団が学校への訪問を行い、認知症の正しい知識の普及を行う。 ○認知症出前講座を行い、認知症の正しい知識と予防についての講座開催	○各地域向けに複数回認知症サポーター養成講座実施 ○近隣の認知症病院と劇団を作成し、小中学校にて演劇を実施	QOL推進部
東埼玉総合病院	○住民を対象とした市民公開講座を開催し、医療機関、医師会、幸手市と連携し、健康教育や保健指導等予防のための取り組みを行う。	○市民公開講座を年3回開催した。 共催：北葛北部医師会、幸手ロータリークラブ、堀中病院 後援：幸手市 内容：医療講演、健康測定、各種相談 ①7月25日(土) 「ロコモティブシンドロームと忍び寄る脅威」 「自宅でできるロコモ予防の運動」 「自宅でできるロコモ予防の食事」 ②11月21日(土) 「風邪は万病のもと～冬に肺炎を起こさないために」 「おなかの風邪 ノロウイルス」 ③2月27日(土) 「みんなで支えよう救急医療」 「救急医療における共助の役割 わたしたちにできること」 ○骨粗鬆症についての市民講演会を開催した。 開催日：1月23日(土) 内容：医療講演、健康測定、栄養相談 演題：「骨粗鬆症をよく知ろう ～骨折で寝たきりにならないために～」 「自宅でできる骨粗しょう症、骨折予防の運動」 「自宅でできる骨粗しょう症、骨折予防の食事」	地域医療推進部

医療機関
医師会
歯科医師会
薬剤師会
各団体

健康づくりや生活習慣病予防に関する正しい知識の普及啓発

白岡中央総合病院	○地域住民を対象とした健康相談会・公開講座の開催 ○産業医活動を通じ、健康の保持・増進に努める	○市民公開講座1回 参加人数62人 ○産業医活動 1社	健康管理課
新しらかが病院	○地域との交流の場である「オレンジカフェ」への参加継続 ○認知症について勉強会・交流会開催	○介護施設等で認知症セミナー開催	医療相談室
加須市母子愛育連合会	○班員が母子保健推進員として受け持ち地域の住民へ訪問をし、健康づくりの話題を提供する。	○母子保健推進員による訪問 1,631件	健康づくり推進課
行田市食生活改善推進員協議会	○食生活改善推進員養成講座の実施 ○健康講話と調理実習を通じた健康教育 ○田んぼアート、農業祭の参加 ○親子の料理教室の実施 ○特定保健指導食事実践協力 ○健康教育及び健康講座に参加し、食の普及啓発	○食生活改善推進員養成講座の実施 15回コース5名 ○健康講話と調理実習を通じた健康教育 参加173名 ○田んぼアート、農業祭の参加 25名 ○親子の料理教室の実施 7名参加 ○特定保健指導食事実践協力 6名参加 ○健康教育及び健康講座に参加し、食の普及啓発 5,248名	保健センター
加須市食生活改善推進委員会	○推進員や市民を対象に講話や調理実習を通じて生活習慣病予防（特に、糖尿病および高血圧予防）を行っていく。 ○市イベントにおいて資料配布やポスター、呼びかけ、試食等を通じて健診受診勧奨や野菜の摂取についての普及啓発を行う。 ○自主活動や出前講座等で子どもから高齢者までの食育活動を継続して行う。	○食改定例リーダー研修会への参加 6回159名 ○地域の推進員への伝達活動 50回816名 ○市民対象の市委託事業 30回661名 ○市民まつりでの健康づくりPR 4回2,185名（食改54名） ○自主活動 92回1,988名 ○他団体との協働事業 43回2,034名	健康づくり推進課
羽生市食生活改善推進員協議会	○食生活改善推進員による調理実習を通じた正しい食習慣の普及 ○市民福祉健康まつりにて、健康づくりに関する知識の普及・啓発	○食生活改善推進員による調理実習を通じた正しい食習慣の普及啓発（回数：42回、参加人数：690名） ○市民福祉健康まつりにて、試食配布（650食）、野菜350g重さ当てクイズ、みそ汁の塩分測定を実施	健康づくり推進課
羽生市健康運動普及推進員協議会	○健康運動普及推進員による運動習慣の普及	○健康運動普及推進員による運動習慣の普及 10,185人	健康づくり推進課
蓮田市食生活改善推進員協議会	○健康まつりにて減塩みそ汁、野菜不足解消等、生活習慣病予防のアドバイスを対面と冊子を配布しながら行う。 ○年間を通じて、食の大切さを取り入れた予防教室を開催し、市民の健康意識を高める。	○健康まつりの食生活改善推進員協議会ブース来所者数 1,000名 ○伝達講習会において生活習慣病予防食の調理実習を実施 15回217名	健康増進課
幸手市食生活改善推進協議会	○健康福祉まつりにて試食や展示を行い、生活習慣病予防につながる食生活や健康づくりに関する知識の普及・啓発 ○生活習慣病予防のための料理教室の実施	○健康福祉まつりにて試食や展示を行い、生活習慣病予防につながる食生活や健康づくりに関する知識の普及・啓発（来所230人） ○生活習慣病予防のための料理教室の実施（1回 参加者15人） ○米料理教室の実施（1回 参加者16人）	健康増進課

医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	健康づくりや生活習慣病予防に関する正しい知識の普及啓発	白岡市食生活改善推進員協議会	○男性料理教室 ○米料理教室 ○生活習慣病予防のための食生活支援事業 ○「TUNAGU（繋ぐ）パートナーシップ事業」	○男性料理教室 参加者29名 ○米料理教室 実施無し ○生活習慣病予防のための食生活支援事業 参加者30名 ○「TUNAGU（繋ぐ）パートナーシップ事業」 参加者30名	健康増進課
		宮代町食生活改善推進員協議会	○各種料理教室において、バランスのよい食生活について簡単な講話や調理実習を実施する。 ○「体重1kg、減塩1g」の声かけ運動を実施する。 ○「ヘルスメイトが繋ぐパートナーシップ事業」として、塩分測定器を用いた減塩普及活動を行う。 ○「生活習慣病予防のための食生活改善支援事業」として、生活習慣の改善に向けた講話やヘルシーメニュー（1食あたり野菜120g以上、塩分3g未満）の調理実習を行う。	○料理教室を通じて、生活習慣病予防及び健康づくりに関する普及啓発を行った。（参加延べ人数560人） ○地域において、塩分測定器等を用いて減塩を呼びかけた。	健康介護課
		杉戸町食生活改善推進員協議会	○生活習慣病予防料理教室を開催する。	○「塩分控えめ」「野菜たっぷり」をテーマにした料理教室を実施した。	健康支援課
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	民間企業や地区組織など、多様な主体が連携した健康増進計画の策定及び推進	北埼玉医師会	○地域におけるプライマリケアを充実し、地域医療提供体制の整備を図る。 ○さらに、かかりつけ医定着と病診連携の推進を理事会において検討を重ねる。 ○関係職種の資質の向上のため、研修会の参加を促進	○地域産業保健センター運営委員会の構成員として、50人未満の事業所の健康増進に寄与した。その他医師会員による産業医活動を行った。	会長
		行田市医師会	○講演依頼があれば対応している。	○例年どおり実施	
		埼葛歯科医師会	○事業所健診の実施と啓発活動の強化	○事業所健診の実施と啓発活動の強化	会長
		北埼玉 歯科医師会	○保健組合による企業健診への協力	○保健組合による企業健診への協力	理事地域包括 部長
		行田市 歯科医師会	○保健組合による企業健診への協力	○保健組合による企業健診への協力	会長
		行田総合病院	○医師や看護師を企業に派遣し、健康のための指導・講演会を実施	○産業医となっている企業や依頼を受けた企業を訪問して、健康指導や講演会を実施した。	医師
		中田病院	○出張健診（企業健診）の実施	—	健康推進部
		医療法人 大久保病院	○産業医による定期訪問・指導	—	
		済生会栗橋病院	○埼玉県のプロジェクトである健康長寿プロジェクトの一環とし、近隣市が実施している取り組みへのバックアップの実現。	○近隣行政の担当課との打合せを行ったが、具体的な取り組みへは繋がっていない。来年度に向けて継続中。	総務課
		蓮田病院	○特定健診・保健指導を増やして、一次予防の推進に努める。	○特定健診、がん検診、学校検診を強化し、保健指導の充実と企業健診の受入れ強化を図り地域医療に貢献した。	検診センター
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	民間企業や地区組織など、多様な主体が連携した健康増進計画の策定及び推進	蓮田よつば病院	○自治会や民生委員等と協力し、オレンジカフェを実施する。	○平成27年度は未実施	地域医療相談 室
		山王クリニック	○地域保健センターと連携を図り、継続的に支援ができるようにする。	○4市、町の婦人科健診受入れ	医師 助産師 看護師
		北埼玉医師会	○地域におけるプライマリケアを充実し、地域医療提供体制の整備を図る。 ○さらに、かかりつけ医定着と病診連携の推進を理事会において検討を重ねる。 ○関係職種の資質の向上のため、研修会の参加を促進	○単独の事業はないが、加須市、羽生市と共同して健診事業の充実に尽力した。	会長

医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	生活習慣病の早期発見と的確な保健指導の推進	行田市 歯科医師会	○行田市保健センターの糖尿病予防教室への講師派遣、あるいは行田市保健センター事業の市民健康大学への講師派遣	○行田市保健センターの糖尿病予防教室への講師派遣、あるいは行田市保健センター事業の市民健康大学への講師派遣	会長
		羽生市 歯科医師会	○成人歯科相談 個々が有する口腔の悩みを解消し、口腔の健康の保持増進に努める。 ○成人歯科検診 40歳以上の方々に対し、歯周病の予防及び口腔の健康の保持増進を行う。 ○8020よい歯のコンクール（北埼玉歯科医師会主催） ○高齢者歯科保健指導 ○歯科食育教室	○成人歯科相談 2名 ○成人歯科健診 281名 ○8020よい歯のコンクール 15名 ○高齢者歯科保健指導 53名 ○歯科食育教室 14名	
		杉戸・宮代 薬剤師会	○血圧・糖尿病等のパンフレットを全店舗内で配布 ○患者相談に対応	○パンフレットの配布 ○相談応需	
		行田総合病院	○特定健診や人間ドックの更なる充実	○病院院外広報誌にて毎号健診案内を掲載し、健康診断の実施を促すことにより早期発見とその後のフォローを実施した。	健診担当
		新久喜総合病院	○市民公開講座等において生活習慣病の早期発見へ向けての啓蒙活動 ○系統団体等への研修会において生活習慣病の早期発見へ向けての啓蒙活動	○系統団体への保健師等を派遣し健康教室開催	健康管理センター
		済生会栗橋病院	○特定健診や個別指導の更なる充実	○健診結果の郵送時に特定健診のお知らせや当院のパンフレットを同封し受診を促すと共に、時期をずらして受診者に個別に郵送にてお知らせを行った。	健診センター
		白岡中央 総合病院	○住民健診の更なる充実 ○疾病ハンドブック等のリーフレットを配布	○看護の日（白岡駅）イベントにて健康相談（延べ60人） ○疾病ハンドブック等のリーフレットを配布	健康管理課
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	地域、学校等における食育の推進	北埼玉医師会	○地域におけるプライマリケアを充実し、地域医療提供体制の整備を図る。 ○さらに、かかりつけ医定着と病診連携の推進を理事会において検討を重ねる。 ○関係職種の資質の向上のため、研修会の参加を促進	○学校医（医師会員）として食育推進に努めた。 ○北埼玉地区学校保健会において、食育の重要性について指導した。	会長
		行田市医師会	○禁煙教育の依頼に対応している。	—	
		埼玉歯科医師会	○久喜市食育健康祭りへの参加	○久喜市食育健康祭りへの参加	会長
		行田市 歯科医師会	○公民館あるいは市内小中学校への食育講話	○公民館あるいは市内小中学校への食育講話	会長
	医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	地域、学校等における食育の推進	○市内の小学生とその保護者を対象におやこ料理教室を開催（夏・冬）	○市内の小学生とその保護者を対象におやこ料理教室を開催 夏休み1回開催 参加者計親18名、子29名 冬休み1回開催 参加者計親16名、子21名	健康増進課

5 親と子の保健対策

(目標)

親と子の悩みや不安を相談でき、必要な支援が受けられるような地域社会をめざします。
 生後なるべく早い時期に乳児のいる家庭の状況を把握することにより、乳幼児のいる家庭の孤立化を防ぎます。
 また、乳幼児健康診査のさらなる充実で、育児支援や児童虐待の早期発見の機能を強化します。
 関係機関の連携を強化していくことにより、親と子の成長や発達を支援します。

実施主体	主な取組	機関名	平成27年度実施計画	平成27年度実績	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	生後4か月ぐら いまでの乳児の 状況把握と育児 支援	北埼玉医師会	○地域におけるプライマリケアを充実し、地域医療提供体制の整備を図る。 ○さらに、かかりつけ医定着と病診連携の推進を理事会において検討を重ねる。 ○関係職種の資質の向上のため、研修会の参加を促進	○単独の事業はないが、加須市、羽生市と共同し、乳児健診など育児支援を行った。	会長
		行田市 歯科医師会	○行田市保健センター事業のパパママ教室への講師派遣	○行田市保健センター事業のパパママ教室への講師派遣	会長
		羽生市 歯科医師会	○乳幼児健診 歯科保健指導(3か月) 予定実施回数12回	○歯科保健指導(3か月) 354名 実施回数 12回	
		山王ドーム クリニック	○予防接種に関する説明会の企画及び実施 ○生後1年までの個別相談に応じる。	○予防接種に関する説明会を月2回程度実施	医師・助産師
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	育児支援に重点 をおいた乳幼児 健康診査の充実	北埼玉医師会	○地域におけるプライマリケアを充実し、地域医療提供体制の整備を図る。 ○さらに、かかりつけ医定着と病診連携の推進を理事会において検討を重ねる。 ○関係職種の資質の向上のため、研修会の参加を促進	○単独の事業はないが、加須市、羽生市と共同し、健康診査の充実に力を尽くした。	会長
		久喜市 歯科医師会	○乳幼児歯科健診の充実 ○親子教室	○乳幼児歯科健診 ○親子教室	会長
		蓮田市 歯科医師会	○乳幼児歯科健診の充実	○乳幼児歯科健診	会長
		幸手市 歯科医師会	○乳幼児歯科健診の充実 ○親子教室	○乳幼児歯科健診 毎月2回 ○親子教室	会長
		白岡市 歯科医師会	○乳幼児歯科健診の充実	○乳幼児歯科健診	会長
		宮代町 歯科医師会	○乳幼児歯科健診の充実	○乳幼児歯科健診	会長
		杉戸町 歯科医師会	○乳幼児歯科健診の充実	—	会長
		行田市 歯科医師会	○行田市保健センター事業のパパママ教室への講師派遣	○行田市保健センター事業のパパママ教室への講師派遣	会長
		加須市 歯科医師会	○歯科相談 ○1歳6か月児、2歳児、3歳児歯科検診 ○歯LOW教室(2歳児、親と子の虫歯予防教室)	○年4回行い、相談者数15名 ○受診率 93~96% ○101組の親子が参加	

医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	育児支援に重点 をおいた乳幼児 健康診査の充実	羽生市 歯科医師会	○乳幼児健診 歯科保健指導 10か月 歯科検診及び歯科保健指導 1歳6か月・3歳 ○2歳児歯科検診 ○親子歯科教室 ○フッ化物塗布	○乳幼児健診 歯科保健指導 10か月 344名 1歳6か月 334名 3歳 379名 ○2歳児歯科検診 295名 ○親子歯科教室 42名 ○フッ化物塗布 1,082名	
		行田総合病院	○附属行田クリニックにて毎週木曜日・金曜日の週2回乳幼児健康診断を引き続き実施する。	○附属行田クリニックにて毎週木曜日・金曜日の乳幼児健診の体制を維持し、実施することができた。	小児科
		山王ドーム クリニック	○乳児健診の際に助産師と個別相談できる時間を設ける。 ○計測デー実施により、発育・発達の相談に応じる。	○乳児健診は、年間約2,000件。医師、助産師、看護師、栄養士が個別対応している。	助産師
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	子どもの心の健康に関する相談 や情報提供の 充実	北埼玉医師会	○地域におけるプライマリアケアを充実し、地域医療提供体制の整備を図る。 ○さらに、かかりつけ医定着と病診連携の推進を理事会において検討を重ねる。 ○関係職種の資質の向上のため、研修会の参加を促進	○単独の事業はないが、加須市、羽生市と共同して充実に力を尽くした。 特に①児童虐待防止ネットワーク委員会 ②いじめ問題検討委員会 ③就学時検討委員会に力を注いだ。	会長
		行田市 歯科医師会	○行田市保健センター事業のパパママ教室への講師派遣 ○行田市単独事業の2歳児歯科検診の実施 ○小学校就学前検診時の歯科講話の実施	○行田市保健センター事業のパパママ教室への講師派遣 ○行田市単独事業の2歳児歯科検診の実施 ○小学校就学前検診時の歯科講話の実施	会長
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	関係機関の連携 強化による 子育て支援	北埼玉医師会	○地域におけるプライマリアケアを充実し、地域医療提供体制の整備を図る。 ○さらに、かかりつけ医定着と病診連携の推進を理事会において検討を重ねる。 ○関係職種の資質の向上のため、研修会の参加を促進	○単独の事業はないが、加須市、羽生市と共同して支援に力を尽くした。 特に①児童虐待防止 ②いじめ問題 ③就学時検討委員会に力を注いだ。	会長
		羽生市 歯科医師会	○受託健康教育 園児歯科保健指導	○保育所・幼稚園にて園児歯科保健指導を実施	
		羽生市薬剤師会	○学校保健委員会への参加と助言 ○薬物乱用防止教室	—	
		加須市母子 愛育連合会	○遊びの広場や三世代交流会を開催	○遊びの広場 35回 945名（一般参加者） ○三世代交流会 11回 1,446名（一般参加者）	健康づくり推進課
		羽生市母子 愛育会連合会	○乳幼児健診の測定補助 ○市民福祉健康まつりに参加し、赤ちゃんハイハイコンクールの開催 ○家庭訪問にて声かけ活動、赤ちゃん誕生訪問の実施	○乳幼児健診測定補助48回、協力144人 ○赤ちゃんハイハイコンクールの参加者33人 協力者18人 ○声かけ・見守り活動380人 赤ちゃん誕生訪問166人	健康づくり推進課
		幸手市母子 愛育会	○健康増進課の保健事業に託児協力 ○地域の小学校に出向き、「いのちの大切さ事業」を実施 ○健康まつりに参加 ○妊婦家庭訪問にて声かけ活動の実施	○離乳食講習会にて託児協力（3回、延べ7人） ○市内小学校に出向き「いのちの大切さ事業」を実施（7校、参加者291人） ○健康まつりに参加（参加者821人） ○妊婦家庭に声かけ訪問の実施（13件）	健康増進課

医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	関係機関の連携 強化による 子育て支援	白岡市母子 愛育会	<ul style="list-style-type: none"> ○保健センターの保健事業に託児等の協力 ○健康まつりに参加 ○幼児教室等を実施 ○家庭訪問にて声かけ運動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○離乳食教室の託児 月1回実施 ○母親学級の受付、愛育会のPR 年6回実施 ○健康まつりにて「赤ちゃん広場（手形）」を実施 113人参加 ○幼児教室 年4回実施、計194組参加 ○地区幼児教室 年14回実施、計142組参加 ○料理教室 年2回、計20組参加 ○乳幼児のための救急法 年1回実施 親13人参加 ○愛育会の名簿にあるお宅に訪問・声かけ活動を行った。 	健康増進課
		杉戸町母子 愛育会	<ul style="list-style-type: none"> ○妊産婦・乳幼児、乳幼児健診未受診者への訪問実施 ○年2回 母と子のつどいを開催 ○保健センター事業への協力 <ul style="list-style-type: none"> ・離乳食教室で保育協力 ・ママパパ教室で技術協力 	<ul style="list-style-type: none"> ○妊産婦訪問14回、乳幼児訪問411回、乳幼児健診未受診児訪問4回実施 ○訪問後は地区担当保健師に報告し連携を図った。 	健康支援課
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	休日・夜間における適正な小児科受診の啓発	北埼玉医師会	<ul style="list-style-type: none"> ○地域におけるプライマリケアを充実し、地域医療提供体制の整備を図る。 ○さらに、かかりつけ医定着と病診連携の推進を理事会において検討を重ねる。 ○関係職種の資質の向上のため、研修会の参加を促進 	<ul style="list-style-type: none"> ○加須市からの委託で、医師会員による「小児の休日夜間における適正な小児科受診等」の市民講座を4回開催した。 ○加須地区において、輪番休日小児診療体制を実施した。（加須市の事業の一環として） 	会長
		行田総合病院	<ul style="list-style-type: none"> ○小児救急医療支援事業への継続的支援として、祝日の月曜日・金曜日の日中、月曜日・金曜日の夜間、第2・第4土曜日の夜間にて小児外来診療及び小児救急診療を継続して実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○計画通り、祝日の月曜日・金曜日の日中、月曜日・金曜日の夜間、第2・第4土曜日の夜間にて小児外来診療及び小児救急診療の体制を維持し、実施することができた。 	小児科
		済生会栗橋病院	<ul style="list-style-type: none"> ○現在行っている市民講座を更に充実しながら、地域住民を対象とした講座を開設し啓発を促す。「正しい医療受診の仕方」等 	<ul style="list-style-type: none"> ○ホームページやカンファレンス等で宣伝を行い更に、市民からのニーズに応えながら、「正しい医療受診の仕方」を含め年間8回の市民講座を実施した。 	地域医療連携 センター 地域連携課